

2015年8月26日

桜島の地表面温度分布（セスナによる空中からの観測）

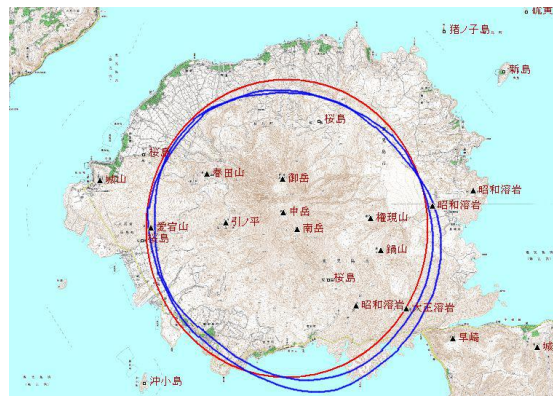
桜島の噴火活動を把握するための基礎資料として、火山体の地表面温度を測定し、現状の温度分布を明らかにした。今回の火山活動の活発化に伴って生じたと考えられる温度異常は観測されていない。

南岳火口から4kmの水平距離の同心円上をセスナで周回し（図1）、高さ6000feetの高度からビデオカメラと赤外カメラ（TH9260）で撮影した画像をそれぞれ合成した。赤外カメラは標準レンズを使用し、放射率は1.0とした。ビデオ撮影は15時～16時、赤外撮影は日没後の19時～20時に行った。図2に示した各方向からの合成画像を図3に示す。山頂火口内、麓の堰堤などの人工によるとと思われるものを除いた温度異常は、山体南東側の昭和火口の周辺、および、山体西側の中岳および南岳の斜面に分布している（対応する箇所を可視画像に白線で示す）。

なお、観測に際しては京都大学防災研究所火山活動研究センターのご協力をいただいた。

昼間の飛行軌跡（可視画像の取得）

2015 8/22 15:20 - 15:40



夜間の飛行軌跡（赤外画像の取得）

2015 8/22 19:35 - 19:54

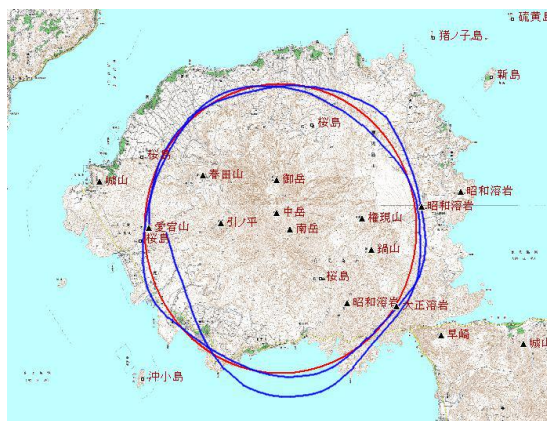
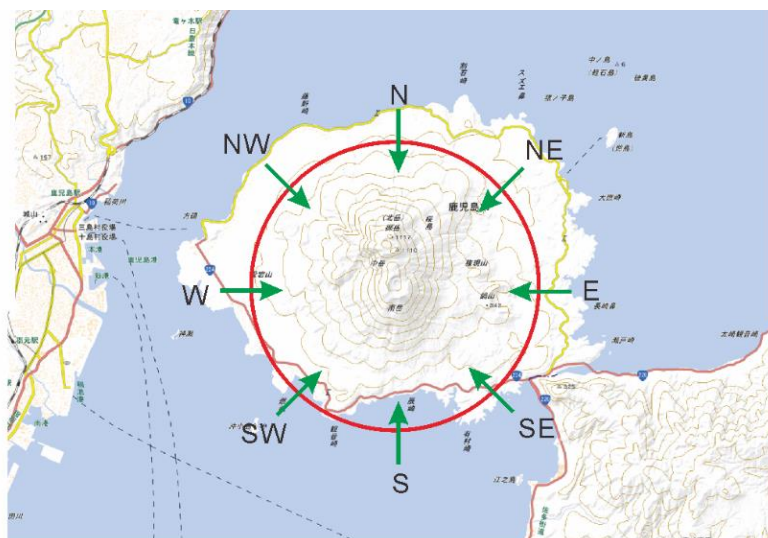


図1 セスナの飛行軌跡（青線：左回り）と予定行路（赤線）。数値地図を利用。



南岳火口より水平距離にして4kmの円周上（赤線）、高度6,000フィート

図2 画像の撮影方向。地理院地図を利用。

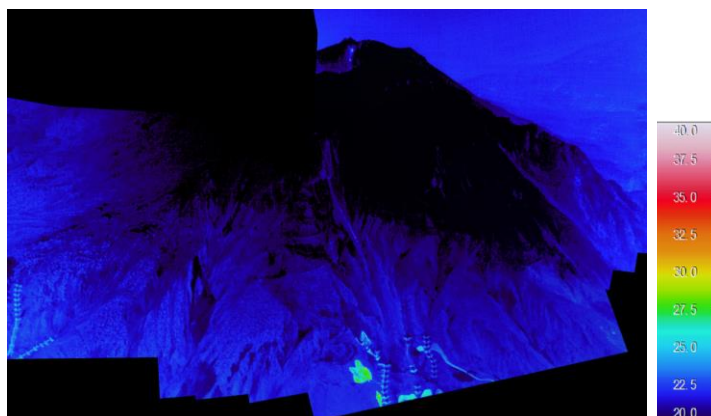
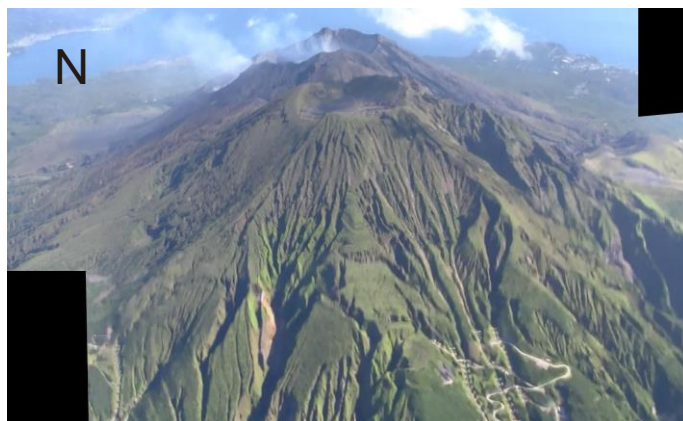


図3 N方向からの合成画像。温度スケールは20°C~40°C。以下同様。

